夢と希望あふれる世界

小中学校夢の作品展

未来を担う子どもたちの夢と希望にあふれた作品を見てもらおうと、11月19・20日の2日間、小中学校夢の作品展がサンアートで開催されました。展示会には町内小中学校と友好都市アメリカ・コロンバス市の子どもたちの作品およそ6、000点が出展。「世界で一つだけの絵本」など学校ごとにさまざまな工夫が凝らされた作品が会場中を埋め尽くしました。訪れた女性は「どの作品も本当に上手でびっくり」と感心していました。

仲間と一緒に楽しくダンス

高齢者健康体操教室

お年寄りに運動を通して楽しく交流してもらおうと11月25日、高齢者健康体操教室が中央公民館で始まりました。愛知県健康づくり振興事業団リーダーの鈴木真弓さんと澤田正子さんを講師に迎え、参加者140人はフォークダンスの基本ステップに挑戦。ぎこちない足取りながらも1曲踊り終えるごとに笑顔がこぼれ、楽しい時間を過ごしました。この教室は10回開かれ、来年2月の生涯学習発表会で練習の成果を披露する予定です。

通る人の心癒(い)やす花景色

塀一面に菊花満開

黒笹地内の鈴木典義(のりよし)さんが自宅の塀に植えた菊花が花開き、11月中旬に見ごろを迎えました。横浜の「菊御殿」と呼ばれる家を参考にし、5月末に妻・ちずゑさんと植えた小菊はおよそ300本。菊の成長を見ながら塀に沿うように何度も手を入れ、ご夫婦で精魂込めて育ててきました。一面に咲く菊花を眺めながら鈴木さんは「きれいに咲いてくれました。この菊の花を見た人の心が、少しでも癒(い)やされれば」と目を細めていました。

隊員同士の連携を大切に

尾三消防本部三好消防署林野火災訓練

林野での火災発生を想定した林野火災訓練が11月30日、三好丘緑地で行われました。三好消防署・南出張所および特別消防隊員30人が参加したこの訓練。緑地内に想定した3カ所の火点までホースをつなぎ、本番さながらの緊迫した雰囲気の中、放水訓練が行われました。訓練後、梅村保男（やすお）三好消防署長が「林野火災など広範囲におよぶ火災ほど隊員の連携が大切」と講評。隊員たちは万一の火災に備え、気を引き締めていました。

奉仕活動の大切さを学ぶ

奉仕活動の日（三好中学校）

ボランティア活動を通して地域のために働くことの大切さを学んでもらおうと、三好中学校では昨年から「奉仕活動の日」を設けています。2回目となる今年は11月18日、全校生徒453人が町内各地で奉仕活動を行いました。学年ごとに各施設の清掃や公園遊具のペンキ塗り、保育園児との交流など幅広い活動を実施。保田ケ池公園の遊具整備をした生徒は「生まれ変わった遊具で子どもたちが楽しく遊んでくれれば」と笑顔でした。

万一の災害に備えて

防災ボランティアコーディネーター養成講座

大規模な災害が発生した場合、ボランティアによる被災地の速やかな支援を行うためには、ボランティアと被災地の支援要請との調整役となるコーディネーターが大切な役割を担います。そこで11月21日、防災ボランティアコーディネーター養成講座を役場で開催しました。参加した32人は、災害の仕組みや実態を学んだ後、災害時のデモンストレーションを実際に体験。コーディネーターの大切さをかみしめていました。